

2025年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）



2025年4月11日

東

上場会社名 株式会社 F I X E R

上場取引所

コード番号 5129

URL <https://www.fixer.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 松岡 清一

問合せ先責任者（役職名） 取締役

（氏名） 磐前 豪

（TEL）03(3455)7755

半期報告書提出予定日 2025年4月11日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2025年8月期第2四半期（中間期）の業績（2024年9月1日～2025年2月28日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年8月期中間期	2,219	△43.7	△527	—	△519	—	△366	—
2024年8月期中間期	3,943	△39.1	498	△67.8	498	△67.3	314	△67.1
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年8月期中間期	△24.77		—					
2024年8月期中間期	21.30		19.94					

（注）2025年8月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		％	
2025年8月期中間期	6,116		5,511		90.1	
2024年8月期	6,590		5,877		89.2	

（参考）自己資本 2025年8月期中間期 5,509百万円 2024年8月期 5,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年8月期	—	0.00			
2025年8月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	6,611	2.2	393	50.7	393	47.6	251	60.9	17.03

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年8月期中間期	14,779,200株	2024年8月期	14,776,200株
② 期末自己株式数	2025年8月期中間期	80株	2024年8月期	35株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年8月期中間期	14,777,142株	2024年8月期中間期	14,764,465株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間貸借対照表	5
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間（自 2024年9月1日 至 2025年2月28日）において、当社が属する国内の情報サービス産業においては、労働人口の減少傾向や業務効率化ニーズを背景に、デジタル化の推進ニーズは旺盛です。また、生成AIの劇的な進化によりDX（デジタルトランスフォーメーション）への期待は一段と高まっております。

このような環境下、当社はクラウドネイティブカンパニーとして、「日本のエンタープライズシステムにグローバル品質のクラウドパワーを」をミッションに掲げ、世界クラウドネイティブなシステム開発力とマネージドサービスを通じて、日本のDXの加速に取り組んでまいりました。また、当社は生成AIの大きな進化を企業の成長に活かすべく、大幅な事業変革に取り組んでおります。具体的には、エンタープライズ向けAGIプラットフォーム「GaiXer」の拡販活動を実施し、導入実績は100社を超え、自治体や企業への導入が完了しました。

「GaiXer」については、RAG性能向上や最新LLMの搭載対応力強化、マルチモーダル対応など質的進化を進めるとともに、ISMAP-LIU特別措置サービスリストへの登録やLGWANへの対応など、セキュリティ面の信頼性を強化しております。

また、「GaiXer」のエージェント化に取り組む中で、観音寺市でのLINE ChatBOT機能への活用など、地方自治体でのAIエージェント化の事例が生まれました。一方では、医療業界のDXの事例として、医療システムとGaiXerプラットフォームの連携・活用を通じて、院内情報を元にした医療文書の自動作成を実現するなど、医療従事者の業務負担軽減に取り組んでおります。さらに、厚労省の「医療DX令和ビジョン2030」への大きなトレンドの中で、藤田学園との合併会社設立に向けた基本合意書を締結し、医療DX市場への本格参入を進めております。

ビジネスモデル別では、プロジェクト型サービスの売上高は1,048百万円（前年同期比25.2%増）となったほか、リセールが売上高742百万円（前年同期比69.3%減）、マネージドサービスが売上高352百万円（前年同期比46.5%減）、SaaS売上高が75百万円（前年同期比173.1%増）となりました。プロジェクト型サービスでは、政府系案件が前期から継続しました。SaaSでは、「GaiXer」の導入が進むなど、事業変革の成果が現れ始めており、前期まで売上を牽引した「HER-SYS」事業を除いた売上は第2四半期に大きく伸長しました。結果、全体としては前四半期比で増収に転じております。また成長投資を継続している中でも、販売費及び一般管理費は912百万円（前年同期比0.2%増）に留めることに成功しました。

以上の結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高2,219百万円（前年同期比43.7%減）、売上総利益385百万円（前年同期比72.7%減）、営業損失527百万円（前年同期は営業利益498百万円）、経常損失519百万円（前年同期は経常利益498百万円）、中間純損失366百万円（前年同期は中間純利益314百万円）となりました。

なお、当社の事業はクラウドサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

（2）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間会計期間末における総資産は6,116百万円となり、前事業年度末に比べて473百万円減少しました。主な要因は、売掛金及び契約資産が656百万円増加した一方で、現金及び預金が911百万円、未収還付法人税等が270百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当中間会計期間末における負債は605百万円となり、前事業年度末に比べて108百万円減少しました。主な要因は、買掛金が21百万円、流動負債のその他が66百万円減少したことによるものであります。流動負債のその他の減少は、主に未払費用が60百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産は5,511百万円となり、前事業年度末に比べて365百万円減少しました。これは主に、中間純損失366百万円を計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ911百万円減少し、3,243百万円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、支出した資金は916百万円（前年同期は620百万円の支出）となりました。これは主に、法人税等の還付額が259百万円あった一方で、売上債権の増加額が656百万円、税引前中間純損失が519百万円あったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、獲得した資金は8百万円（前年同期は2百万円の獲得）となりました。これは主に、固定資産の取得による支出が10百万円あった一方で、敷金の回収による収入が13百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は3百万円（前年同期は16百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出3百万円によるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度の業績予想につきましては、2024年10月11日公表の数値から変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年 8 月 31 日)	当中間会計期間 (2025年 2 月 28 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,157	3,246
売掛金及び契約資産	1,208	1,865
未収還付法人税等	270	—
その他	217	149
流動資産合計	5,854	5,261
固定資産		
有形固定資産	254	236
投資その他の資産	480	618
固定資産合計	735	854
資産合計	6,590	6,116
負債の部		
流動負債		
買掛金	324	302
1 年内返済予定の長期借入金	7	7
未払法人税等	12	16
賞与引当金	121	102
役員賞与引当金	0	—
その他	236	169
流動負債合計	703	598
固定負債		
長期借入金	10	6
固定負債合計	10	6
負債合計	713	605
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,213	1,213
資本剰余金	1,178	1,178
利益剰余金	3,483	3,116
自己株式	△0	△0
株主資本合計	5,875	5,509
新株予約権	1	1
純資産合計	5,877	5,511
負債純資産合計	6,590	6,116

(2) 中間損益計算書

(単位: 百万円)

	前中間会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
売上高	3,943	2,219
売上原価	2,534	1,834
売上総利益	1,408	385
販売費及び一般管理費	910	912
営業利益又は営業損失 (△)	498	△527
営業外収益		
受取利息	0	1
為替差益	—	0
雑収入	1	6
営業外収益合計	1	8
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	0	—
雑損失	—	0
営業外費用合計	0	1
経常利益又は経常損失 (△)	498	△519
特別利益		
投資有価証券売却益	1	—
新株予約権戻入益	0	0
特別利益合計	1	0
税引前中間純利益又は税引前中間純損失 (△)	500	△519
法人税等	186	△153
中間純利益又は中間純損失 (△)	314	△366

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	500	△519
減価償却費	28	27
新株予約権戻入益	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△0	△1
支払利息	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	△595	△656
仕入債務の増減額(△は減少)	△88	△21
投資有価証券売却損益(△は益)	△1	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6	△18
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14	△0
未払金の増減額(△は減少)	△105	4
未払費用の増減額(△は減少)	△119	△60
その他の資産の増減額(△は増加)	28	81
その他の負債の増減額(△は減少)	△45	△10
小計	△418	△1,177
利息及び配当金の受取額	0	1
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△201	△0
法人税等の還付額	—	259
営業活動によるキャッシュ・フロー	△620	△916
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△5	△10
有形固定資産の売却による収入	—	4
投資有価証券の売却による収入	8	0
敷金の差入による支出	△0	△0
敷金の回収による収入	0	13
定期預金の預入による支出	△0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	2	8
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△17	△3
株式の発行による収入	1	0
自己株式の取得による支出	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△633	△911
現金及び現金同等物の期首残高	4,833	4,154
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,200	3,243

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

当社は、クラウドサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。